

拠出金名：日カリコム友好協力基金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				5,676千円	
国際機関等名	カリブ共同体(カリコム) (英文名称・略称) Caribbean Community(CARICOM)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省中南米局カリブ室				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成19年度	5,676	49		1米ドル = 116円	100
平成18年度	6,327	57		1米ドル = 111円	100
平成17年度	7,062	66		1米ドル = 107円	100
当該拠出金の目的・用途等	カリコム諸国による事業支援を通じた日カリコム友好信頼関係の増進。				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)				国際機関等の財政 (2007年度決算)	
	国名	金額 (千米ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 49,000米ドル	
1位	日本	49	100.0	当該年度の支出 41,778米ドル	
2位				次年度への繰越 7,222米ドル	
3位				会計検査機関名	
4位				KPMG	
5位					
(備考:我が国の拠出のみによる基金)					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
カリコム諸国14か国とは基本的価値を共有しており、緊密な二国間関係を基盤に、国際場裡で有効な協力関係を構築している。(国際捕鯨委員会(IWC)では、カリコムより8か国中7か国が我が国の立場を支持。国連では多数の国が我が国の常任理事国入りを支持するとともに、各種選挙で我が国候補を支持。)カリコムにおいては、単一市場経済の推進、域内協力などの動きがあり、地域ブロック単位でも力をつけ、発言力を増している。このような地域国際機関の枠組みを活用してカリコム諸国との協力関係強化に取り組むことは、我が国の国際場裡における影響力の増大を図る上でも重要。本基金は、上記のとおり、国際場裡での協力を得るための協力的なテコとなっている。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
カリコム事務局の機能強化はかねてからの懸案事項であったが、事務局ビルに隣接するビルを確保し、拡散していた人材をユニットごとに配置可能となったこと等改善がなされるとともに、ドナーからの支援による職員増員等の組織強化も行っており、機能強化・効率化が期待される。					
邦人職員数 うち幹部以上	1人 うち 0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		359人 0.2%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称	職員氏名		備考		
なし					
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
現在、上記邦人職員(JICA専門家)は、地域開発計画専門家として本基金運用主体たるカリコム事務局で我が国ODAスキームの適用案件形成・推進に従事するほか、本基金の活用・運営についても様々な形で支援を行っている。同人の任期終了後は、後任を派遣予定。カウンターパートはカリコム事務局資源活用・技術協力部長。					

(注)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。